政策コメンテーター報告（第2回、意見照会期間：2015年2月27日～3月12日） 諸富徹：京都大学大学院経済学研究科教授

質問事項		選択式回答	記述式回答
経済動向			
1	2015年3月上旬から中旬にかけての経済状況について、関連する業界、地域等の現状やご自身の知見・経験等を踏まえ、3か月前(2014年12月上旬から中旬)と比べて良くなっているか、悪くなっているか選んでいただき、その理由をデータや具体的な事例とともに300字以内でご記入ください。その際、前年との違い等お気づきの点があれば併せてご記入下さい。	良くなっている	内閣府2014年10～12月期GDP改定値が、前期比実質0.4%増、年率換算で実質1.5%増、3四半期ぶりのプラス成長となったように、総体としては改善しつつある。総務省の労働力調査1月分でも、就業者数／雇用者数の増加、就業率の上昇、完全失業率の減少が確認されており、雇用状況の改善も継続している。しかし、今回の改善の主たる理由は輸出の伸びであり、民間消費、設備投資の寄与ではない。とは言え、経産省鉱工業指数速報1月分によれば、生産・出荷指数が昨年9月で底を打って伸びる一方、在庫の減少傾向がみられるようになった点が、前年度との違いである。問題は民間消費である。経産省商業販売統計速報1月分によれば、前年同月比2.9%減で本格回復に至っていない。このことは、総務省家計調査報告1月分速報でも確認できる。同速報によれば、依然として実質収入は対前年同月比で減少を続けており、消費低迷の背景要因となっている。
経済の好循環実現に向けた取組について			
2－1	足下の企業収益の拡大が速やかに賃金上昇や雇用拡大につながり、更なる消費や投資の拡大に結び付くためにとるべき対応について、具体的なお考えがございましたら、500字以内でご記入ください。	－	
2－2	好循環が生まれ始めている一方、非正規労働者や中小企業等への波及が重要との指摘もございます。そうした観点から強化すべき取組について、お考えがございましたら300字以内でご記入ください。	－	